

図書館の未来を考えるオンラインミーティング 開催結果概要

第4回

01 開催概要

「(仮称)中央図書館基本構想」の策定に向け、今後の豊中市立図書館及び(仮称)中央図書館のあるべき姿について話し合っていたいただくためのミーティングとして、最終回となる第4回は「資料や情報の収集・提供・保存のあり方／司書の専門性」をテーマに11月20日(金)19:00～20:30に開催し、10名の方に参加いただきました。

また、参加者間同士でより活発に意見交換をしていただくため、前回同様終了後には希望者によるフリートークの時間を30分程度設け、ミーティング内で話さなかったことも含めて自由にお話しいただきました。

当日のプログラム

1. 開会・前回ふりかえり	19:00～19:05
2. 市立図書館の資料や司書の役割に関する説明・質疑	19:05～19:10
3. グループ分け・トーク時ルール説明	19:10～19:15
4. トピック1 (グループセッション) 市立図書館ではどのような資料を収集・保存すべきか？ デジタル化が進む中で必要とされる情報提供のあり方とは？	19:15～19:40
5. 休憩	19:40～19:45
6. トピック2 (グループセッション) 専門職としての司書に求められる役割とは？	19:45～20:10
7. グループセッション結果概要紹介	20:10～20:13
8. 参加者感想発表	20:13～20:28
9. 閉会	20:28～20:30
－フリートーク(※希望者のみ)－	20:30～21:00

02 意見等概要

現在の市立図書館における資料の状況や司書の役割等に関する事務局の説明を踏まえたうえで、次ページ以降に示す各トピックに沿って、順番にご意見をお話しいただきました。

事務局の説明の概要

市立図書館資料の特色

- 現在の蔵書冊数は約100万冊
- 児童サービスや団体貸出の取組みが盛んで児童書を手厚く収集
- 蔵書新鮮度・蔵書更新率が比較的高い
- 一般書の複本購入を最低限に抑え、多様な資料を提供
- 医療健康・子育て・DV防止などの暮らしの課題解決関連資料は庁内他部局からの利用も多い
- 学校図書館支援ライブラリーを通じて学校へ図鑑等を貸出
- デジタルコンテンツや障害者サービス関連資料も提供
- 資料収集にあたってはリクエストを反映しているほか、重点的に収集する資料4種を設定(例:子どもたちを育むための資料 など)



市立図書館における司書の役割 (各担当の配置)

- 貸出室・こども室担当: 全館
- 参考室担当: 岡町・野畑・千里図書館
- 選書・整理・受入・発注担当: 野畑図書館
- YAサービス担当: 全館(※千里図書館中心)
- 障害者サービス担当: 全館(※岡町図書館中心、それ以外の館は貸出室・こども室担当が兼務)
- 団体貸出・動く図書館・図書室担当: 岡町図書館

(1) トピック1：市立図書館ではどのような資料を収集・保存すべきか？ デジタル化が進む中で必要とされる情報提供のあり方とは？

市立図書館の現状やこれまでのミーティングで挙げていただいたご意見なども踏まえ、現在及びこれからの市民のために集め、残していくべき資料の内容・形態や、デジタル化が進む中でそれらを提供する方法について、2つのグループに分かれて話し合っていました。各グループで挙げられた意見の概要は、以下のとおりです。

グループ1 で挙げられた主な意見

資料の内容・形態等 について

資料の内容について

- 調べ物をする場としては、レファレンス資料を充実させてほしい
- 法律・医学関連の有料データベースをもっと閲覧できると利便性が上がると思う。学生だけでなく社会人にとっても必要性が高いだろう
- 「まず市立図書館を頼ればよい」と思ってもらえる存在として、書籍だけでなく最新のハザードマップやそのダウンロード方法なども提供できると魅力的ではないか
- 豊中市の特色化を図るため、豊中市・北摂地域・周辺市町、能勢街道関連の資料や、豊中市にゆかりのある人物に関連する資料を充実させてほしい
- インターネットからより面白い情報が得られる趣味・娯楽関連の資料は減らし、インターネットでは得られない豊中市固有の資料や専門書等を増やすべき
- 書籍に付属する著者提供のデジタルデータも併せて提供できるとよい
- 著名な外国人作家の絵本などを今後も継続して所蔵してほしい
- 登記や旅行に関する資料は役に立つため、新鮮な資料を充実させてほしい
- 激変する社会の中を生き延びることに焦点を当てた資料を増やしていくとよい
- 公共図書館としての強みを活かし、個人や大学図書館とは異なる特徴を出していくのがよいのではないか。学校の先生お薦めの資料の収集・発信などができるとよい
- 従来どおり、著者の立場に捉われることなく幅広く資料を収集することが非常に大切だと思う。そうした意味では、中学校・高校の教科書を探しても見つからず困っている

資料の形態について

- 電子書籍の提供はとてもよいと思う
- 特許電子図書館のようにデジタル上で色々なことを調べることができる仕組みがあるとよい
- 市立図書館が主導することで、市民が自らの生活に関する資料・情報をデジタルコンテンツとして作成し、未来に向けてアーカイブ化することができるとよい

資料・情報の 提供方法 について

- 館内にインターネット・データベース閲覧のためのPC・タブレット端末があると、調べものや勉強に活用でき、来館者の増加にもつながるのではないか
- スポーツ関連資料とスポーツ教室の情報を組み合わせて発信することなどができると、市立図書館のサービスとして膨らみが出て面白い
- 市民の新しい働き方をサポートしたり、新しい社会の発展に寄与したりする資料をセットで提供できるとよい
- 豊中市や周辺地域に関連する資料などを適時展示してほしい
- 提供するための情報を収集するため、全庁的にオンラインミーティングを進め、市民と双方向の対話の場を持ち続けてほしい

グループ2 で挙げられた主な意見

資料の内容・形態等について

資料の内容について

- 収集すべき資料の方針は現在のままでよいと思う
- バストセラーや人気雑誌などへのニーズも高いのかもしれないが、幅広いタイトルを収集してほしい
- 学術的に貴重な資料こそ公共図書館で所蔵すべき。すべて収集することは難しいため、近隣市町・府・国と融通し合えるようなネットワークがあるとよい
- 市立図書館としてのコレクションのうち、多文化共生・子育て・DV防止・調べ学習関連資料は点数を増やしてもよいのではないか
- 庄内図書館で多く所蔵する外国語資料については、他館でも充実を図ってもよいのではないか。外国語学習者にとっては、子ども向けの外国語資料などもあるとよいと思う
- 資料収集を各館職員に任せ、地域ごとに特色ある資料を収集できるとよい
- 庄内図書館で積極的に進めている郷土資料の収集は継続したほうがよい
- 府・国に頼ることができない地域資料の収集は大切だと思う
- 吹田市・箕面市と比較して新聞タイトル数が少ないため、増やしてもよいのではないか

資料の形態について

- 電子書籍を導入するのもよいのではないか。それにより、大量の情報や入手困難な資料も収集できるのではないか。取り扱う情報量を増やしていけるとよいと思う
- 電子書籍は出版されているタイトル数が少なく、分野も偏っている。費用をかけてシステムを構築してまで導入が必要かという点で難しい。時期的には延ばしてもよいのではないか
- 電子書籍の導入にあたっては、電子媒体で購入すべきものと紙媒体で購入すべきものの判断基準が求められるだろう。将来的に保存が必要な資料や貴重な資料、すぐ手に取れることに価値がある資料などは、紙で残した方がよい
- どのような地域資料があるか、どれを残せばよいかといった観点で、広く市民から情報を得るための動きもあるとよい

資料・情報の提供方法について

- デジタル化が進もうが進むまいが、障がいのある市民も外国籍の市民も含むすべての市民に必要な情報が届くようにしてほしい
- デジタル化に対応するうえでは、誰もが資料にアクセスできるようにしてほしい。市立図書館は、アクセスする方法も含めて提供する場として有効なのではないか

(2) トピック2：専門職としての司書に求められる役割とは？

2つ目のトピックとしては、日々利用者の資料・情報ニーズに対応している司書が、今後の市立図書館で担うべき役割について意見交換をしていただきました。それぞれのグループで挙げられたご意見の概要は以下のとおりです。

グループ1 で挙げられた主な意見

高度なレファレンス

- 「こんな本を読みたい」「こんな資料が知りたい」という相談に対する迅速な対応・回答の提示
- リエゾンライブラリアン(大学図書館において教員や学生とのコミュニケーションを通じて、教育に必要な情報リテラシー教育や選書のサポートなどを行う職員)のような役割。子どもから高齢者に至るすべての市民の生涯学習の支援
- サブジェクト・ライブラリアンやレファレンス・ライブラリアンのような役割。特定の分野における高水準のレファレンスサービスの提供

新たな 取組み

- 豊中市としての売り・特徴をかたちづくるような取組みの立案
- 目標・目的(利用率向上等)に向けた戦略の立案。活動を拡げるための手法の開発(他公共図書館職員も巻き込み継続的に開発)
- 売りとなる能力や得意分野(子どもを惹きつけるような読み聞かせ等)を活かした取組みの展開や、新たな取組みの提案
- 月1回程度の研修の受講などから得られる最低限のマナーを備えた対応

適切な 対応

デジタル化 への対応

- デジタルデバインド(館内の自動貸出機を使えない、HP から延長手続きができない等)を解消するための支援
- インターネットを介した読み聞かせ(録画・ライブ配信)
- 他部局との日常席な接触や、他部局での司書の勤務経験を活かした取組み(選書等)の展開
- 他の公共サービスとの懸け橋としての庁内担当窓口の紹介。担当者と直接連絡を取ることができるサービスの提供

他部局 との連携

グループ2 で挙げられた主な意見

専門性の 維持

- 専門職である司書が長年働いてきたことを活かした取組み
- 情報を提供するということに特化した専門職としての仕事
- 調査・研究目的の利用者や初めて来館する利用者への対応
- 利用者の求めに応じて必要な情報を提供するための知識・能力を備えた対応
- 利用者が求める資料の素早い提供

的確な レファレンス

親身・身近 な対応

- コンシェルジュのようなかたちで用件を聞き、安心して任せられる存在として利用者を案内
- 利用者が窓口で気軽に相談できる状況を提供
- 将来司書になろうとしている市民のインターンとしての受入れ
- 提供したいサービスを展開するための市民と協働した環境づくり
- サービスが多様化する中で、市民と協働する際の調整

市民との 協働

デジタル化 への対応

- デジタル化社会に対応した案内(適切なデータベースの紹介等)
- デジタル化社会に対応して市民の情報リテラシーを育てていくための支援
- 中央図書館職員による地域館・分館の巡回を通じた各館の状況・利用者層の把握

他館の 支援

オンラインミーティングに参加いただきました皆さま、本当にありがとうございました。ご意見は、「(仮称)中央図書館基本構想」策定の際の参考とさせていただきます。ミーティングはこれで最終回となりますが、(仮称)中央図書館の整備に向けてこれからも検討を重ねてまいります。令和3年1月15日(金)には、基本構想策定に関してシンポジウムも予定しております。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

お問い合わせ

豊中市教育委員会事務局読書振興課

TEL: 06-6843-4553 (岡町図書館内)

Email: okamachito@city.toyonaka.osaka.jp